

# 地域漁業学会

# 会 報

## 【発行】

地域漁業学会 学会事務局  
〒104-0033 東京都中央区新川 2-22-4  
新共立ビル(株)共立(担当:地域漁業学会担当)  
TEL: 03-3551-9896 FAX: 03-3553-2047  
E-mail: jrfs@kyouritsu-online.co.jp  
<http://jrfs.org/>

No. 123

2024年1月

## — 目 次 —

1. 新会長挨拶
2. 地域漁業学会第65回大会に参加して
  - 1) 古澤礼太 会員
  - 2) 福釜知佳 会員
3. 新理事・監事、各種委員会の選出
4. 編集委員会からのお願い
5. 事務局からのお知らせ

※理事会議事録、事業・決算報告、事業・予算計画は別紙をご覧ください。

### 1. 新会長挨拶

地域漁業学会会長 波積 真理

この度、地域漁業学会会長就任に際し、ご挨拶させて頂きたいと存じます。まずはなにを置きましても、前会長のこの2年間のご尽力に心より感謝を申し上げます。前会長は、決断力の早さ、緊急度の高い課題への対応に力を発揮して頂き、リーダーシップをもって、学会の方向性を示して頂きました。この道筋を更により良い方向へと導く事が出来ますよう力を尽くして参ります。副会長、理事、事務局、学会員の皆様におかれましては、是非ともお力添えを賜りますよう、何卒よろしくごお願い申し上げます。

### 2. 地域漁業学会第65回大会に参加して

#### 1) 古澤礼太 会員

中部大学 中部高等学術研究所  
国際ESD・SDGsセンター

地域漁業学会第65回大会にはじめて参加させていただきました。二日目の研究発表では、アフリカ・ガーナ共和国の都市部(首都アクラ、ガ民族)における地域漁業について口頭発表をさせていただきました。漁港をとりまとめる「漁師長(Chief Fisherman)」が、政治的・宗教的な権威を持ち、漁業コミュニティの秩序の維持がおこなわれている実態を報告しました。

初日のシンポジウムの途中からの参加でしたが、地域の持続可能な漁業に関するさまざまな議論も大変興味深く聞かせていただきました。というのも、私自身が、アフリカの都市人類学の研究を進

める一方で、所属する中部大学ではESD（持続可能な開発のための教育）やSDGs（持続可能な開発目標）の研究・活動に取り組んでいるからです。愛知県春日井市に位置する中部大学は、国連大学が世界190地域に認定しているESDの地域拠点ネットワーク「中部ESD拠点」の幹事機関を担っています。愛知県・岐阜県・三重県の3県をほぼカバーする伊勢・三河湾の集水域である「伊勢・三河湾流域圏」を対象地として持続可能な社会づくりをめざし、包括的な課題解決と地域づくりに取り組んでいます。地域の持続可能性を考えるうえでも地域漁業はとても重要であり、このような素晴らしい学会に入会させていただいたことをとても嬉しく思います。

今後とも、ローカル・グローバルな視点で漁業と持続可能な社会づくりについて、皆様にご指導をいただきつつ、私自身も貢献できるように尽力していきたいと考えております。

今後ともよろしくお願いいたします。

## 2) 福釜知佳 会員

東京海洋大学大学院

昨年はオンラインで聴講しましたが、今回は学会に入会し、初めて対面の地域漁業学会に参加しました。私が所属する東京海洋大学松井研究室からは、全員自己負担にて社会人学生2名含む学生計8名が参加し、うち5名が報告を行いました。

対面の学会に参加してみると、講演者の話だけでなく、オーディエンスの反応がわかり、当然のことではありますが、オンラインとリアルとでは臨場感が異なりました。質疑応答や休憩時間、懇親会などの場で、これまで読んだ論文の著者やシンポジウム関係者の皆様とお話しし、場合によっては平場で聞きにくい事情なども尋ねることができました。ちょっと違うかもしれませんが、さながら推しの有名人に会ったような気分で、内心嬉しく感じておりました。

本大会では、私を含め、水産庁に籍のある者が複数報告を行いました。EBPM（Evidence Based Policy Making: 根拠のある政策立案）の必要性が叫ばれる中で、行政でもアカデミアの知見をより一層必要としているのではないかと感じております。

私自身の発表はというと、初めての学会個別報告において「日本の魚類養殖業の効率性分析」ということで、正直申し上げると少々毛色が違うような気もいたしましたが、座長を務めて下さった松井歩先生からは、今後の研究の深化に繋がるご指摘をいただきました。

朝晩は母親、昼間は行政官、深夜早朝に研究者見習いという三足の草鞋を履きながらではありますが、会員・関係者の皆様の先行研究や視点を参考にしながらよりよい研究ができるよう、精進して参る決意を新たにいたしました。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

## 3. 新理事・監事、各種委員会の選出

大会の際に開催された理事会・総会において、理事・監事の改選が行われました。新理事によって、新会長には波積真理会員が、副会長には竹ノ内徳人会員が選出されました。

### 新理事・監事一覧

会 長：波積真理（熊本学園大学）

副会長：竹ノ内徳人（愛媛大学）

<地域理事> <五十音順：○は部会長>

九州・沖縄部会

鹿熊信一郎、佐久間美明、中村周作、

○波積真理

中四国部会

○竹ノ内徳人、藤井陽介

近畿部会

河原典史、前潟光弘、○増崎勝敏

東海・北陸部会

常 清秀、○東村玲子

関東部会

○工藤貴史、橋村修、原田幸子、  
宮田勉、山下東子

東北・北海道部会

○佐々木貴文、横山貴史

#### <事務局・各種委員会>

(五十音順：○は代表者、\*は会長推薦理事)

事務局担当

○天野通子、\*林紀代美、\*前田竜孝、  
\*眞次一満

会計担当

○山下東子

学会誌編集委員会

前潟光弘、\*末田智樹、○竹ノ内徳人、  
\*塚本礼仁、波積真理、\*原田幸子、  
増崎勝敏、\*吉村健司

学会賞選考委員会

猪又秀夫、亀田和彦、常 清秀、  
田和正孝、増崎勝敏、○山下東子、  
若林良和

研究企画委員会

○工藤貴史、崎田誠志郎、佐久間美明、  
中村周作、原田幸子、松井歩

国際交流委員会

越後学、鹿熊信一郎、○宮田勉、李銀姫

監事

近藤信義、玉置泰司

#### 4. 編集委員会からのお願い

編集委員会委員長 竹ノ内 徳人

学会誌編集委員会では今期の学会誌について  
64巻1号～3号として3冊を発行予定です。個別報告については第1回切が2月22日(木曜日)、第2回切が3月22日(金曜日)です。またコロナ禍の過去3カ年において当学会でご報告され、なおかつ論文投稿されていない原稿も引き続き受け付けたいと考えております。学会員の皆様からの積極的なご投稿をお待ち申し上げます。

#### 5. 事務局からのお知らせ

##### 1) 第66回大会の開催について

2024年秋に開催予定の大会について、工藤貴史会員をはじめ東京海洋大学の関係者に拠点校をお引き受け頂きました。開催日程については、拠点校の新年度の大学暦などを勘案し、後日調整など進めて参ります。

##### 2) 会員情報更新とメール登録のお願い

今後は会報のメール送信を予定しておりますので、メールアドレスの登録をお願いいたします。研究会などのお知らせの受け取りに便利です。

(メールアドレスの変更、住所変更は、WEB上で可能です。<http://jrfs.org/nyukai.html>)

不明な点がございましたら、ホームページ上の問い合わせメールでお願いします。事務的なことについては、共立のご担当者が対応致します。

##### 3) 会費納入のお願い

学会の運営は、会員の皆様からの会費納入により成り立っています。学会の諸活動の活性のためにも、会費の期限内納入にご協力願います。会費は、年間で、個人会員10,000円、学生会員は

6,000 円です（ただし、海外在住の外国人会員は個人会員 6,000 円、学生会員 3,600 円です。また、団体会員・賛助会員は 1 口 10,000 円です）。

※未納がある場合には、速やかに納入いただけますと幸いです。下記の連絡先情報（四角枠）のなかに、振込先情報を記しております。

【問い合わせ先】

事務局：林、眞次、天野、前田

jrfs@kyouritsu-online.co.jp（◎ を@に変換して下さい）

**地域漁業学会** <http://jrfs.org/>

本部事務局 株式会社共立内

〒104-0033 東京都中央区新川 2-22-4 新共立ビル (株)共立 内

(担当：地域漁業学会) TEL: 03-3551-9896 FAX: 03-3553-2047

郵便振替：01750-0-83886

銀行振込：三菱 UFJ 銀行 新富町支店 普通 0146078